

# 昭和47年度 和歌山県文化功労賞

たか き なお  
高 木 尚 (号 閑堂)

住 所：和歌山県和歌山市

出 身 地：和歌山県

生 年：明治41年

## ◎業績及び経歴

幼少の頃から父光楽師より華道を修技し、昭和6年横浜高等工業学校卒業後、ただちに和歌山県立高等女学校華道講師となり、和歌山大学をはじめ県下各高等学校華道部の指導にあたられた。

戦後の荒廃した和歌山にいち早く和歌山文化協会、県美術家協会等の設立に努力され、各協会の副会長を歴任。さらに県展、市展に華道部門を設けるなど、本県の華道発展のために貢献されるとともに、県立美術館の建設委員としても尽力されるなど、常に本県の文化推進の第一線にたって活躍されている。

昭和42年には、日米親善姉妹都市文化使節団長としてその任を果たされた。

昭和44年3月伝統ある華道界の一層の発展と地域社会の文化向上をねがい、多くの要望に応じて和歌山県いけばな協会を設立、会長に推され、爾後、花展の開催、研修会の実施等生活のなかに向かい文化のひろがりを創造することを信条に、巾広い活動を続けられている。